

CASBEE-建築(新築)2014年版
ダイレックス西倉吉店■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.6
1 音環境		2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.0	0.35	-	-	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能		1.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性	空調ゾーニングをした。またゾーン別に冷房・暖房を選択可能とした。	4.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		2.0	0.25	-	-	2.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		3.0	-	3.0	-	
3.3 照度		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御		1.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境		4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	建築材料については、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用した。	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		2.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	建物全体は禁煙とし、外部に喫煙コーナーを設けるようにした。	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.7	0.40	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準を望ましいレベルとした。	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高を3.95mとした。	5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	外装材は、通常の管理が不要な材料とした。	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	ゴミ置き場を確保し、搬出が容易な位置とした。	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		1.8	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				3.3	0.30	-	-	3.3	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		4.0	0.30	-	-		
	2	空間の形状・自由さ	壁比率0.11	-	-	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり				4.0	1.00	3.0	-		
3.3 設備の更新性				3.0	0.30	3.0	-		
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.2	0.40	-	-		
	2	給排水管の更新性	構造躯体を痛めることなく、更新可能としている。	3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性		4.0	0.20	-	-		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.1	
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制				2.0	0.20	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				BEIm 非住宅 0.73 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	4.0	
3 設備システムの高効率化	集合住宅以外の評価(3a.3b)			4.0	1.00	-	-		
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-		
				3.0	0.20	-	-	3.0	
4 効率的運用	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-		
				3.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
1 水資源保護	1.1 節水	節水型の衛生器具を採用した。		4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4	
2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.14	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー		3.0	0.29	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材:事務所等床、塩ビ管:雨水排水管		4.0	0.29	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.29	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6	
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-		
	1	消火剤		-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50	-	-		
	3	冷媒		2.0	0.50	-	-		
	LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
	1 地球温暖化への配慮				4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5	
2 地域環境への配慮	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-		
	3	交通負荷抑制	自転車置場は建物入口付近の利用しやすい位置とした。	5.0	0.33	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1	
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
	1	騒音		3.0	1.00	-	-		
	2	振動		-	-	-	-		
	3	悪臭		-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-		
	1	風害の抑制		3.0	1.00	-	-		
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
3.3 光害の抑制	3	日照障害の抑制		-	-	-	-		
			3.7	0.20	-	-			
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			